

NPO法人兵庫SPO支援センター

2021年度事業報告書



地域を未来につなげる

# 令和3年度 中間支援事業 事業報告書

令和3年4月11日

特定非営利活動法人兵庫SPO支援センター

## 1 目的

中心市街地の活性化を推進するため、中心市街地の課題解決に取り組む様々な団体の活動を支援するとともに、多様な活動を総合的にコーディネートする中間支援事業を受託し、中心市街地の活性化を図ることを目的とする。

また、住民組織等が主体となった健康づくり活動の立上げ・運営を支援するとともに西脇市の健康推進施策を連携させることにより、住民組織の活動強化と住民交流の活性化を図ることを目的とする。

## 2 概要

NPO法人兵庫SPO支援センターが西脇市に中間支援として、入り込み活動して3年目となった。市民協働を促進し「地域が地域を支えるしくみづくり」の必要性が高まるなか、まちの活性化に取り組む行政の方や自治会、各種団体、企業、大学等の先生方とともに、当法人ならではの中間支援としての役割を果たし、多くのつながりや市民自身の地域への関りを強化している。

定着期間を経て、いよいよ積極的事業へと取り組む時期となったが、コロナ禍というリアルなつながりが難しい中で、イベント等の開催も難しく、人や地域をつなぐインパクトのある取り組みの実施が難しい。結果、新聞掲載等、マスコミが取り上げるような取り組みは多くはできていない。しかし、瞬間的なインパクトのある取組み以上に継続的でベースとなる「しくみ」づくりはさらに重要であると考えている。相談業務をベースにしながら「人と人」「人とまち」「人と団体」とのつながりを創り、市民のまちにかかわる自主性を喚起し、「関係人口」を増やす取組みを実施、一定の成果を出すことができたと考えている。

目的にあるとおり、多様な活動を総合的にコーディネートしているなかで、目的のキーワードになっている「課題解決」「中心市街地活性化」「健康づくり」「住民組織の活動強化」「住民交流の活性化」等は、複合的に重なっている。

相談業務でも、相談によるサポートに止まらず。相談を通じたマッチング、起業支援、連携などにつながり、複数の目的につながっている。



### 3 項目

- (1) 活動支援の取り組み（相談事業）
- (2) 各種取組み

その効果について下記の項目を加え紹介する。

【課題解決】【中心市街地活性化】【健康づくり】【住民組織の活動強化】【住民交流の活性化】

- (3) まとめ「中間支援確立に向けた取組み」

#### (1) 活動支援の取り組み（相談事業）

(実施概要)

本事業の中核をなす事業で、各自・各団体が取り組む事業の課題解決の道筋を示し、アドバイスすることで、具体的なかたちに結びつけることができ、同時に市民とつながり、中心市街地の活性化と健康増進活動に寄与した。

相談期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

実施場所：「西脇135」西脇市西脇303番地（旧ますや旅館）

開設期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日（木曜日・第2第4土曜日）

祝日・年末を除く

相談件数：開設日67日

相談件数74件

地域区分：まちなか56件 市内17件 市外1件

相談内容：起業12件 運営17件 助成金3件 健康12件 その他30件

#### (2) 各種取組み

(実施概要)

プラットフォームとしての機能づくり（コレクティブな協働関係づくり）に向けたネットワークの構築と活用を行った。それは、中間支援拠点「西脇135」の認知度向上と「場」としての機能構築とともに市民の巻き込みを行い、まちづくりを「自分ごと」にする「当事者」を増やしている。それはwin-winの関係を考えながら、まちなか再生を実現する団体や人材として活用するしくみを構築している。

##### 1. 健康サロン（継続支援）

【中心市街地の活性化】【健康づくり】【住民組織の強化】【住民交流の活性化】

内容：一昨年度、起業支援した西脇出身者（作業療法士・運動機能士）が、西脇で起業し一昨年9月から西脇135を利用し、毎月第2・第4土曜日に地域の高齢者を対象に「健康サロン」を実施している。  
場所の提供と助成金のアドバイスを行っている。

開催日：毎月第2・第4土曜日 10時～11時

場 所：西脇135



## 2. 「まちなか紙芝居」の開催

【中心市街地の活性化】【住民交流の活性化】

内 容：西脇市図書館が共催。西脇135に隣接する来住薬局の駐車場をお借りして、まちなかに西脇図書館に来てもらい、子どもと共に母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんが一緒に楽しんだ。

開催日：2021年10月23日（土）10時～11時30分

会 場：西脇135横の来住薬局駐車場

参加者：子ども12名 大人11名



## 2. 健康と観光のまちあるきイベント

ーポスチャーウォーキング×西脇レトロまちあるきー

【中心市街地の活性化】【健康づくり】【住民交流の活性化】

内 容：健康とまちなかの活性化を意図したイベント。

NPO法人北はりま田園空間博物館が共催。

健康な歩き方をポスチャーウォーキング協会認定講師に指導してもらった後にまちなかに繰り出し、西脇の歴史に詳しい北はりま田園空間博物館の藤原孝三がまちなかに残る西脇の歴史に触れながら、約1時間のコースを楽しんだ。

開催日：2022年3月21日（月・祝）10時～12時

会 場：西脇市市民交流施設オリナス及び西脇市まちなか

参加者：26名



### 3. まちなか会議

【課題解決】【中心市街地の活性化】【住民組織の強化】

内容：西脇市のまちなかのクリエイターによる会議

まちなかのクリエイターたちが月1回、西脇135でイベントやまちづくりについて意見を交わし、まちなか活性化を具体化している。

今年1月からは地域資源を活かしたまちづくりの実績を持つキタイ設計の平櫛武氏に来てもらい、ファシリテートと指導を行っている。

実施日：月1回（第1木曜日）

場 所：西脇135



### 4. 空き駐車場にキッチンカーを集めたフラットスペースの取組み

【中心市街地の活性化】【住民組織の強化】【住民交流の活性化】

内容：蓮池歯科の駐車場を有効利用したいとして、相談対応していた蓮池さんがキッチンカーを集めた「フラットスペース」を開催。人気を得ている。

実施日：祝日のない毎週木曜日と土曜日

場 所：蓮池歯科駐車場（みなと銀行向かい）



5. まちなか・西脇135の軒先出店 播州織の生地販売・西角商店  
 【コーディネート】【中心市街地の活性化】【住民交流の活性化】

内 容：播州織のまち西脇市のまちなかで、定期的に播州織の生地を販売したいとの相談から、西脇135の軒先での販売をマッチング。

実施日：毎月第4土曜日

場 所：西脇135前



6. 関連事業

パラレルワークセミナー

「健康・生きがい就労トライアル」の取組み

【課題解決】【健康づくり】

内容：少子高齢化、長寿化していくなかで、「社会参加」がいかに健康に有効かを科学的データを示し、社会貢献的な生きがい就労のしくみが、地域に4方（高齢者本人・家族地域住民・自治体・介護事業等の事業者）良しの状況を生みだすとしたセミナー

実施日：2022年3月2日（水）14時～15時30分

会 場：西脇市茜が丘複合施設みらいえ

参加者：4名

パラレルワークセミナー  
**“健康・生きがい就労トライアル”の取組み**  
 ～高齢者を支え手間に“ポストコロナの地場づくり”～  
 西脇市により高齢者の健康と生きがいにつながることを主眼とする取組みから  
 開催します。そして再発防止策として「生きがい就業」の取組みを先行します。

参加費 無料

日時 令和4年3月2日(水) 14:00～15:30  
 (受付 13:30～)

対象 新し(い)働き方に就めるお年寄り・女性の方向

会場 西脇市西が丘複合施設 みらいえ 会議室1  
 兵庫県西脇市野村町西が丘16番地の1

定員 30名

申込み ①西脇市公庫にてFAX申込 ②メールにて申込(お席の項目を入れて、ご連絡ください)  
 ③下記電話を相手へ申込 ④申込フォーム用QR

講師  
 大船カス(特) エキスパート・文化研究所 生活支援員  
 株式会社西脇市福祉法人 健康・生きがい就業ラボ 理事  
**遠座 俊明 氏**  
 経歴 西脇市出身、1987年西脇市立西脇高等学校卒業、西脇市役所に入社、西脇市・西脇市職員会議員・  
 西脇市議会議員、2015年～2019年西脇市議会議員(西脇市議会議員)「活力ある地場づくり」  
 心算委員を務める。2019年～2021年西脇市議会議員(西脇市議会議員)「活力ある地場づくり」心算委員  
 (西脇市議会議員)、2021年～2023年西脇市議会議員(西脇市議会議員)「活力ある地場づくり」心算委員

生きがいしごとサポートセンター情報  
 TEL: 079-224-8900 FAX: 079-224-1553  
 e-Mail: info@sjpo-harima.com

### (3) まとめ「中間支援確立へ向けた取組み」

上記の実施内容から

相談窓口の設置を基本としながら、「つながり」や「巻き込み」を行い、西脇市民を中心にまちづくりを「自分ごと」にしていく取組みができたと考える。

日本の各地で少子高齢化が進む、これまでに遭遇していない課題に地方都市は直面している。そこで見えてきたは行政や企業、各種団体単独の取組みでは限界があるということ。単に人口増加や企業誘致という視点ではなく、「幸せに暮らし続ける」しくみの構築が必要で、「つながり」と「居場所」「プラットフォーム」を確立しながら、住民自らがまちづくりに関わり「挑戦」できる「幸せ」をつくるために中間支援の確立をより一層進めていきたい。

時代は「想定外」「不確実」な要素を含みながら進んでいる。必要なのは「想定外」や初めて経験する課題に対しても対応できる「しくみ」であり、「つながり」であると考え。頼るべきは市民のエンパワーメントを喚起した取組みであり、今後ともまちづくりを自分事にした「きっかけ」をつくり、寄り添う「相談」を実施していきたい。

その上で、「中間支援」は欠かせない「しくみ」であると考えている。

人材育成の観点から

#### 1. インターンの受入れ

内容：今年度は計4名のインターン生を受け入れた。

1名は西脇市のまちなかに実家があり、現在、山梨大学在学中の学生。

1名は兵庫県立大学 神戸市内在住

2名は兵庫県大学院生 淡路市内の大学生寮在住

NPO法人兵庫SPO支援センターとして受入れ、西脇市でインターンを実施した。西脇市との関係人口構築の意図を持って受け入れた。

兵庫県立大学大学院生の2名は主に西脇市の八坂町及び西嶋町に「小規模集落調査「住民アンケート」」の作業に加わり、地域の課題を住民から直接聞く機会を持ち、学びとした。

実施日：兵庫県大学生（8月～9月）

兵庫県立大学大学院生（8月～2月）

山梨大学生（12月～3月）

場 所：西脇 135 及び西脇市内・明石市



## 2. 西脇スタッフの育成

当初より西脇市の地元スタッフを1名採用。育成中  
来年度より西脇市近隣の播磨地域より1名を追加採用。



人をつなぎ「地域が地域を支えるしくみを」創る



## 2021年度 ひきこもりの居場所 事業報告書

令和3年度より、兵庫県の「生きがいごとサポートセンター事業」の終了を受けて、明石市において、新たな事業として「ひきこもりの居場所」事業を明石市の補助金を受けて6月より開始した。

これまで、ひきこもりの親の会「NPO法人陽だまりの会」のサポートを通じてひきこもり支援に関わってきたが、これまでの明石におけるネットワークを活かし受託した。

2021年度の実績は下記のとおり。

来所者数

年	月	延人数	実数
2021年	6月	20	4
2021年	7月	17	5
2021年	8月	17	3
2021年	9月	13	2
2021年	10月	19	5
2021年	11月	3	3
2021年	12月	2	2
2022年	1月	1	1
2022年	2月	1	1
2022年	3月	1	1
	合計	94	27



(課題と今後の展開)

限られた経費の中での事業であり、人材教育、広報のあり方等に課題を残している。

今後の展開について、

①ひきこもり者の気持ちの状況は様々で、常時開設の方法を取ってきたが、費用の面で難があり、検討が必要

②新たにラジオ事業から企業等にネットワークを広げて、資金確保を図ることを検討。

人材と資金面で状況による。

③補助金の増額により、更なる人材の確保を図る等を検討していく。

補助金の増額は不安定要素で、他からの資金繰りが課題。

## 「働いている人のためのNPO等支援窓口」

特定非営利活動法人兵庫SPO支援センター

### 1. 事業が目指すところ

地域で社会的事業を始めようとする人たちやはじめている人の状況は様々で、休日や夜に相談したいニーズに対して、相談の機会を作った。

とくに淡路島等の過疎地では人口減少が進み新たな地域課題が発生している。その解決のために「相談」と「つながり」の機会をつくり行政だけに頼らない「地域が地域を支えるしくみ」を創る。

### 2. 活動内容

#### ①日曜日等の休日及び夜の相談対応

淡路島の洲本市及び淡路市に日曜出張相談を実施

#### ②淡路市立津名図書館での「まちづくりネットワーク交流会」の開催

10月29日 第1回 まちづくりネットワーク交流会

ゲスト：株式会社須磨北造園土木 席定京吾さん

参加者：33人

1月31日 第2回 まちづくりネットワーク交流会

ゲスト：バームクーヘン専門店 café maaru 三宅英樹さん

参加者：36人



### 3. 成果や課題点

(成果) ①日曜日等の休日に相談対応できた。

②図書館を通じて、まちづくりの輪の中に多様な人を巻き込むことができた。

(課題点) ①休日相談の認知度の向上

②まちづくりネットワーク交流会の定着と継続性

### 4. 今後の展望、成果の活用

(今後の展望) 図書館における多様な人の交流を通して、そこで生まれる「つながり」と「人財バンク」的なストックを活用し「地域で地域を支えるしくみ」を創っていく。

(成果の活用) 淡路市で創った「つながる図書館」を西脇市等の他地域にも展開し、各地にある「図書館」を地域づくりのプラットフォームとして活用していくモデルを増やしていく。